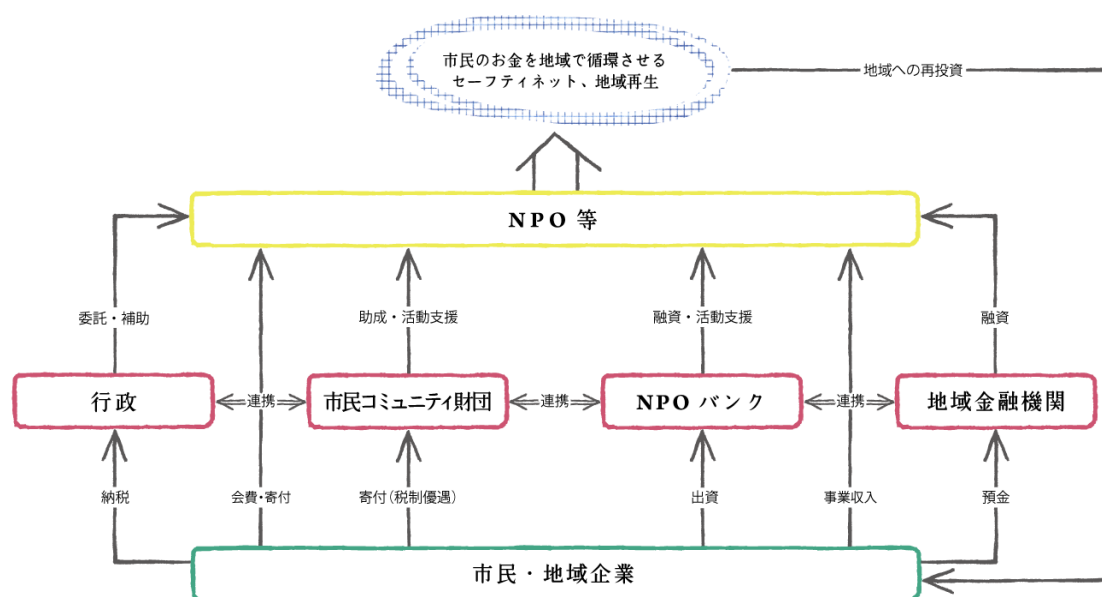


《代表理事あいさつ》

これまで 8 年間、momo を運営する中で、個人にとって“出資”は、「(元本は保証されないが) 返してもらえるお金」として、寄付よりも出しやすさがある一方で、企業にとっては寄付の方がありがたい(税制優遇があるとなおよい)ことを実感してきました。

また、市民公益活動団体(NPO)にとって“融資”は、助成よりも自立(自律)が促されますが、返済が見込めない場合には、当然融資を受けられません。完済を迎えた融資先の中には、返済期間や融資金額などが momo の条件を上回り、自分たちだけでは対応できない案件も生まれつつあります。そうした段階の NPO をどう支えるか。そのために企業や行政といった地域資源をどう巻き込むかが大きな課題のひとつです。

私たちのこれから 10 年のチャレンジは、「地域内“志金”循環モデル構想」(図)の実現です。日本でいちばん“志金”が循環する地域を目指して、以下の 3 つの連携を通して NPO に必要なお金の流れをつくります。



参考:「名古屋市民活動促進基本方針」(2011 年 12 月) / 図 資金が地域で回る仕組みのイメージ (例:市民ファンドの場合)

(1)「中間支援組織」との連携

他地域における NPO バンクの設立・運営をサポートします。2011 年度は一般財団法人地域創造基金みやぎ、12 年度は NPO 法人津市 NPO サポートセンターからスタッフを研修で受け入れました。

(2)「行政」との連携

愛知県で初めての市民コミュニティ財団「あいちコミュニティ財団」の設立を支援しました。設立資金として 653 名の発起人(設立寄付者)から総額 9,501,789 円の寄付を 118 日間で集め、13 年 4 月 1 日に一般財団法人として設立されています。

(3)「地域金融機関」との連携

地域金融機関との人事交流等を行い、人材育成や商品開発を後押しします。12 年度は以下の取り組みを実施しました。

- 愛知県内に本店を置く地域金融機関の職員が講師やアドバイザーを務める「集合研修」(全 3 回)や「仮想理事会」の実施
- 愛知県内に本店を置くすべての信用金庫・労働金庫(16 金庫)と NPO の問題意識や取り組みを学ぶ「検討会」(全 5 回)の実施
- 中日信用金庫と東海労働金庫の職員が職業上持つ知識や経験、スキルを生かす“プロボノパートナー”として、momo 融資先の組織課題解決に挑む「しんきん&ろうきんプロボノプロジェクト」(全 5 回)の実施 <http://blog.canpan.info/bank-probono/>

(13 年度は瀬戸信用金庫と東濃信用金庫が本プロジェクトに取り組みます。)

そして10年後には、NPOへの“志金”循環により、愛知県内に本店を置く16地域金融機関の預金総額（約13.4兆円・2010年度）のうち、地域外へと流出している約6兆円の1%（600億円）が、地域内に循環している社会の実現を目指します。

「ひとりで見る夢はただの夢。みんなで見る夢は現実となる」。オノ・ヨーコの言葉の通り、私たちはみんなで見る夢にするプロセスを歩み始めました。その実現に向けた地域の小さな営みに、ぜひご注目・ご参画ください。



2013年7月吉日
コミュニティ・ユース・バンク momo
代表理事 木村真樹

《2012年度のハイライト》

- マンスリーサポーター制度「momoたね基金」を開始
- 刈谷市（市民協働課）と株式会社デンソー（社会貢献推進室）と「NPO等情報流通促進協議会」を組織
- 地域金融機関との連携が本格化（「しんきん&ろうきんプロボノプロジェクト」など）
- 一般財団法人あいちコミュニティ財団の設立を支援
- 「地域資源白書 2012@東海版」を発行
- 専従有給スタッフが3人に

コミュニティ・ユース・バンクmomo

2012 年度事業報告

1. 出資金の募集

11 年度に引き続き、出資金の募集は“量の拡大”を目的とせず、「融資先に適切な支援を提供できる人材を巻き込む機会」としてとらえ、「質の向上」に努めました。

12 年度は、セミナーや講座などを通して当団体の理念や取り組みに共感し、出資いただいたケースが多く見られました。一つひとつの出会った場で丁寧に関係を紡ぎ、出資を働きかけてきた結果、12 年度末の正会員数は 514（個人 486・団体 28）、出資総額は 52,622,900 円となりました。

また、12 年度もこれまでに引き続き、500,000 円以上の出資を希望される方には、当団体のミッションや現状、元本割れのリスク等を必ず電話等で説明させていただき、私たちのことをご理解いただいた上で出資いただくようにしました。

なお、当団体の出資総額は 1,000 万円を超えているため、ペイオフ（金融機関が破綻した際の処理方法のひとつ）対策として決済性預金の口座で管理しています。同預金だと利息はつきませんが、金融機関が破綻しても正会員のみなさまの出資金は全額保護されます。

【出資金残高】

	10 年度末	11 年度末	12 年度末	前年度比
正会員（個人）	434	472	486	+15
正会員（団体）	22	24	28	+4
出資金（口）	47,340,000	48,350,000	52,622,900	+4,272,900

2. 正会員への融資

（1）融資の募集

つなぎ融資（補助金などが交付されるまでの資金のつなぎ）は随時、一般融資（起業資金や設備資金等への融資）は半年に一度、受付期間を区切って募集を行い、その都度チラシや電子メールでの告知に努めました。また、12 年度も引き続き、当団体の融資に対する考え方や各融資先の声を掲載した「融資のあゆみ」を作成し、チラシとともに配布しました。

また、個人向け融資の可能性を探るため、有志で勉強会を開催し、現状分析や課題を洗い出しました。

【各回の申込受付期間・申込数・融資決定数】

	申込受付期間	申込数	融資決定数
第 12 回	12 年 6 月 1 日（土）～7 月 31 日（水）	3	2
第 13 回	12 年 12 月 1 日（土）～13 年 1 月 31 日（木）	3	1

（2）「融資無料相談」の実施

毎月 23 日に「融資無料相談」を実施（時間帯は各月によって異なる）し、融資希望者とともに融資の可能性を探っていく機会を設けました。12 年度は 15 件のご相談をいただきました。

（3）面談（一次審査）前のハンズオン支援の実施

「資金借入申込書」による書類審査を通過し、「事業内容説明書」等をご提出いただいた融資申込先には、各担当理事がハンズオン支援（継続的に成長していくためのあらゆるサポート）を行い、次のステップである面談（一次審査）を双方にとって有意義なものにすることを目指しました。

(4) 融資審査委員会の開催

融資申込案件は融資審査委員会で審議し、融資実施の可否は理事会で決定します。同委員会は理事のほか、NPO/NGO やコミュニティビジネス、金融のエキスパートである顧問によって構成され、一般融資（起業資金等に対する融資）の審査は書類審査や面談、訪問調査を2～3ヶ月かけて慎重に行いました。

なお、つなぎ融資に関しては資金ニーズの緊急性も勘案し、同委員会を開催せずに理事会のみで審査を行いました。（必要に応じて、顧問への意見聴取は実施しています。）

また、12年度の顧問は以下の通りです（敬称略）。

- ・奥田裕之（NPO 法人まちぽっと 事務局スタッフ）
- ・川北輝（NPO 法人津市 NPO サポートセンター 理事長）
- ・東海労働金庫 ※若手職員を研修目的で受け入れました。
- ・原美智子（NPO 法人ぎふ NPO センター 事務局長）
- ・村田元夫（株式会社ピー・エス・サポート 代表取締役）

(5) 融資の実施

借り手の資金ニーズの把握に努め、出資総額の70%を目標に融資を行いました。貸し倒れ等のリスク対策として、貸付金利息を損失準備金として積み立てるとともに、理事の出資金（13年5月末で269万円）を劣後出資として設定し、当面の貸し倒れに備えました。また、12年度も返済延滞案件が発生したため、理事会で原因と対策を検討しました。

(6) 個人向け融資勉強会

個人向け融資勉強会は、2011年に「momoで個人の生活資金等を対象にした融資ができませんでしょうか？」という会員さんからの一言がきっかけでした。

東日本大震災ならびに原子力発電所の事故を受けて、環境、食、エネルギー（Iターン、電力の自給）など、日々の暮らしの中で思いをもってアクションし始めている個人が生まれています。そのような個人の取り組みに融資をすることで、「自分たちの手に生活を取り戻すこと」や「生かしかれていない志金を生かすこと」ができないかということで、12年度は毎月1回程度、勉強会を行いました。

昨年度の総会では「事例を調べて課題が見えてきたこと」「出資者と対話しながら検討を重ねていきたいこと」を報告しましたが、「新しい制度をつくる」という取り組みの大きさに腰が引けたのか、勉強会への参加者数は減っていきました。

最終的には少ない人数でしたが、「足るを知る暮らし」や「社会的な個人のアクション」への融資は、収入を得て返済に充てることが難しく、そうした取り組みには、融資ではなく、寄付（勉強会では餞別という言葉を使った）がふさわしいのではないかという結論になり、個人向け融資を制度化・実現することは見送ることになりました。

【融資実施数】（累計）

	10年度末	11年度末	12年度末	前年度比
融資件数	22	34	41	+7
融資金額（万円）	5,296	7,571	9,045	+1,474



【融資先】上清水信男
不耕起栽培による有機野菜の生産と販売



【融資先】一般社団法人しん
地域活動支援センター とびら

【12年度融資先一覧】

融資先名	事業拠点	事業名	融資金額 (円)	融資期間	年利 (%)	12年度末 残高 (円)
一般社団法人 しん	愛知県 名古屋市	地域活動支援セ ンター とびら	1,800,000	2013年5月10日～ 2016年5月25日	2.0	1,800,000
中部 ESD 拠点 協議会	愛知県 春日井市	国連「ESD の 10 年」最終年会合へ の「ESD 中部モ デル」のインプッ ト	4,800,000	2013年1月22日～ 2013年5月9日	2.0	0
株式会社 ランダムネス	愛知県 名古屋市	外国人と日本人 がともに成長で きる場づくり事 業	1,200,000	2012年12月12日～ 2015年1月25日	2.5	962,666
上清水信男	岐阜県 高山市	不耕起栽培によ る有機野菜の生 産と販売	340,000	2012年11月19日～ 2015年10月25日	2.5	283,465
一般社団法人 高齢者等支援 フォーラム	静岡県 浜松市	障がい者の就労 継続支援 A 型事 業所立ち上げ及 び運営	2,800,000	2012年10月5日～ 2013年6月30日	2.0	2,800,000
中部 ESD 拠点 推進会議	愛知県 春日井市	「持続可能な社 会づくり」のため の大学および地 域における社会 改善推進リーダ ーの育成事業	1,000,000	2012年9月24日～ 2013年5月17日	2.0	0
株式会社関む ぎパッション フルーツ組合	岐阜県関市	パッションフル ーツの露地栽培 の確立と新商品 開発	2,800,000	2012年7月27日～ 2013年7月31日	2.0	2,800,000
きそがわ日 和 実行委員会	岐阜県 美濃加茂市	きそがわ日 和 2012 春夏秋冬ブ ロジェクト	1,500,000	2012年5月14日～ 2013年4月19日	2.0	0
まいか プロジェクト	岐阜県 高山市	野菜の処理加工 を通じた小規模 農家と消費者連 携による農山村 地域づくり	2,000,000	2012年5月14日～ 2015年5月25日	2.5	1,348,305
NPO 法人 青ねこくらぶ	愛知県 刈谷市	障がい福祉サー ビス事業への移 行	1,000,000	2012年4月27日～ 2013年3月21日	2.5	0
NPO 法人 ブラジル 友の会	岐阜県 美濃加茂市	多様な価値観と グローバルな視 野を持つ人材育 成～多文化共生 社会の橋渡し役 ～(ポルトガル語 教室)、外国人児 童・生徒学習支 援事業、美濃加 茂市定住外国人 自立支援センタ ー、岐阜県外国 人相談窓口支援 センターと正しい 情報を届けるし くみづくり事業 、岐阜県で暮ら す外国籍住民の 生活実	2,700,000	2011年12月26日(～ 2017年3月25日)	2.0	2,326,759

		態調査				
農園サユール イトシロ	岐阜県 郡上市	生産効率化のた めの機械化事業	250,000	2011 年 11 月 18 日～ 2013 年 12 月 25 日	2.5	76,098
こらぼ屋	三重県 四日市市	コミュニティサロ ン併設型飲食店「結 縁屋台」のパイロ ットショップバリア フリー化改装工事	2,800,000	2010 年 12 月 28 日～ 2013 年 3 月 13 日	2.0	0
NPO 法人 志民連 いちのみや	愛知県 一宮市	138fooddrink オリジナルフー ド&ドリンク地 域資源化プロジ ェクト	540,000	2010 年 12 月 22 日～ 2013 年 3 月 25 日	2.5	0
NPO 法人 ふれ愛名古屋	愛知県 名古屋市	児童デイ natsu	1,500,000	2010 年 11 月 15 日～ 2013 年 6 月 25 日	2.5	51,572
合同会社 yaotomi	愛知県 名古屋市	野菜販売事業	500,000	2010 年 8 月 30 日～ 2012 年 10 月 25 日	2.5	0
GOEN 農場	岐阜県 加茂郡 白川町	鶏舎の建て替え	500,000	2010 年 6 月 16 日～ 2012 年 8 月 22 日	2.5	0
合計			30,280,000		合計	12,448,865

3. 啓発・広報及び情報提供

(1) メーリングリストの運営

- ・会員メーリングリスト (momo-members@yahoogroups.jp) : 融資先の現状やイベント案内、毎月の出資・融資状況等をお知らせする「momo レポート」(月 1 回配信) など、12 年度は計 95 回、会員のみなさまへメールを配信しました。13 年 6 月末現在、メーリングリストの登録者数は 481 名です。
- ・交流メーリングリスト (momo-koryu@yahoogroups.jp) : 10 年度より正会員の同士の「情報交換」「交流の場」として設置しました。12 年度は計 269 回、会員のみなさま同士でメールが配信されました。13 年 6 月末現在、メーリングリストの登録者数は 451 名です。

(2) Web サイトの運営

トップページにある「お知らせ」や融資先情報、当団体への出資時にいただく「出資者の声」、ブログ「momo レンジャーの日々」などを随時更新しました。また、12 年度は新たにマンスリーサポーター制度「momo たね基金」と「momo たね基金参加者の声」のページを Web サイトに開設しました。

- ・twitter http://www.twitter.com/momo_bank/
- ・facebook ページ <http://www.facebook.com/cyb.momo>

(3) ニュースレター「momo 通信」の発行

12 年度は 12 年 8 月、11 月、13 年 2 月、5 月の計 4 回 (A5 判、16 ページ、モノクロ) を発行しました。当団体融資先に焦点を当て、各事業者が形成するコミュニティや、ソーシャルファイナンス (社会的金融) をテーマに、momo が取り組む「お金によって切れたつながりを、お金を通してもう一度つなぐ」試みを誌面上で展開しました。「momo のファンになろう」を合言葉に、Web サイト等で紹介されている内容にとどまらないファンならではの情報を掲載しました。

また、中間支援団体、イベント配布用として「momo 通信@かわら版」を発行し、情報会員以外にも当団体の動きを発信しました。

【情報会員数】

	10 年度末	11 年度末	12 年度末	前年度比
情報会員数	136	142	100	-42

(4) マンスリーサポーター制度「momo たね基金」の導入

助成金や補助金に頼らない運営を目指し、12年度よりマンスリーサポーター制度を新たに設けました。当団体の非資金的支援や運営を応援いただける方を募りました。12年度末現在のマンスリーサポーター数は9名です。

(5) イベントの開催・出展

12年度は、以下の事業を momo レンジャーが中心となって実施しました。

【主なイベント等の概要】

- 「地域内“志金”循環促進事業」連続セミナー：“志金”を愛知県内で循環させるために、非資金的支援の「あり方」「やり方」をテーマに、【助成】【投資】【融資】などの資金的支援に携わるゲストからお話を伺い、参加者同士も話し合うトークセッションを行いました。
- 「協働コーディネート業務（テーマ：寄付文化の醸成）」連続セミナー：各地の市民コミュニティ財団で活躍中のゲストをお招きし、創造的な対話と場をつくる「ワールド・カフェ」という手法を通して参加者同士の対話を行いました。
- 「『情報流通』促進事業」フォトレポーター養成講座：NPOの信頼性を高めるために、NPOを取材し、情報発信を担うボランティアスタッフを、育成してきました。
- ブース出展：来場者が多数集まる屋内外の各イベントにブースを出展し、直接対話で出資を募る「ダイレクトダイアログ」等を実施しました。
- プロセスマネージャー養成塾：事業者の伴走者としてそのプロセスに寄り添いながら解決策をともに考える「支援力」を養う講座を開講しました。



【ブース出展】ぼらチャリ 2012



【イベント】yaotomi 完済イベント



【イベント】momo 新年会 2013



【イベント】「地域内"志金"循環（お金の地産地消）推進事業」連続セミナー第2回

【12年度実施イベント一覧】

年月日	イベント名	場所	参加者数	備考
【12年】				
6月27日(水)	フォトレポーター養成講座【第1回】	刈谷市市民ボランティア活動センター	22名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
7月1日(日)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」キックオフワークショップ	ウインクあいち	50名	主催:愛知県
7月3日(火)	キャパシティビルディングワークショップ & 公募説明会	ウインクあいち	17名	共催:パナソニック株式会社
7月7日(土)~8日(日)	第4回NPOバンクフォーラム ~「円」を「縁」に変えよう! ~ 分科会「みんなの資金を“志金”に変える 非資金的支援の「あり方」「やり方」	福岡開催	—	主催:第4回全国NPOバンクフォーラム実行委員会 助成:地球環境基金
7月11日(水)	フォトレポーター養成講座【第2回】	刈谷市市民ボランティア活動センター	26名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
7月25日(水)	フォトレポーター養成講座【第3回】	刈谷市市民ボランティア活動センター	24名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
7月27日(金)	プロセスマネージャー養成塾募集説明会	momo 事務所	10名	助成:地球環境基金
7月29日(日)	第7回定時総会	東別院会館	41名	
8月2日(木)	オリエンテーション&認知症サポーター養成講座	知多市市民活動センター	23名	共催:NPO 法人地域福祉サポートちた
8月3日(金)	傾聴ボランティア心得講座 & 携帯カメラで美しく写真を撮る方法講座	半田市市民交流センター	20名	共催:NPO 法人地域福祉サポートちた
8月3日(金)	フォトレポーター養成講座事前説明会 @名古屋	名古屋市市民活動推進センター	7名	
8月8日(水)	フォトレポーター養成講座【第4回】	刈谷市市民ボランティア活動センター	25名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
8月12日(日)	プロセスマネージャー養成塾・第1回場づくり研修	名古屋都市センター	27名	助成:地球環境基金
8月22日(水)	フォトレポーター養成講座【第5回】	刈谷市市民ボランティア活動センター	23名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
8月23日(木)	「まちのたね通信」の生かし方講座	半田市市民交流センター	19名	共催:NPO 法人地域福祉サポートちた
8月23日(木)	フォトレポーター養成講座@名古屋【第1回】	名古屋市社会福祉協議会	16名	
8月27日(月)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」説明会(ワークショップ) @一宮	一宮市スポーツ文化センター	32名	主催:愛知県
8月28日(火)、9月3日(月)~4日(火)	地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業「集合研修」	ウィルあいち	12名	主催:愛知県
8月29日(水)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」説	小牧市公民館	21名	主催:愛知県 協力:NPO 法人こまき市民活動ネットワーク

	明 会（ワークショップ）@小 牧			
8月30日(木)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」説明会（ワークショップ）@知 多	知多市市民活動センター	32 名	主催:愛知県 協力:知多市市民活動センター
8月30日(木)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」説明会（ワークショップ）@刈 谷	刈谷市市民ボランティア活動センター	14 名	主催:愛知県 共催:刈谷市市民ボランティア活動センター
8月31日(金)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」説明会（ワークショップ）@半 田	半田市市民交流センター	20 名	主催:愛知県 協力:はんだまちづくりひろば
9月5日(水)	フォトレポーター養成講座【第6回】	刈谷市市民ボランティア活動センター	22 名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
9月7日(金)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」説明会（ワークショップ）@豊 橋	豊橋市民センターオレンジプラザ	16 名	主催:愛知県
9月8日(土)	シンポジウム:社会事業家の成長を育む仕組みや仕掛けとは?～会計の役割から考える～	ウイंकあいち	52 名	主催:認定NPO法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク
9月11日(火)	フォトレポーター養成講座@名古屋【第2回】	名古屋市市民活動推進センター	18 名	
9月12日(水)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」説明会（ワークショップ）@蒲 郡	がまごおり市民まちづくりセンター	24 名	主催:愛知県 協力:がまごおり市民まちづくりセンター
9月14日(金)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」説明会（ワークショップ）@岡 崎	東部地域交流センター・むらさきかん	36 名	主催:愛知県 協力:NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた
9月19日(水)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」連続セミナー第1回	ウィルあいち	17 名	主催:愛知県
9月23日(日)	「愛知まちのたね通信」開設記念シンポジウム	刈谷市市民ボランティア活動センター	54 名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
9月29日(土)	愛フェス 2012	愛・地球博記念公園	—	ブース出展(主催:愛フェス 2012 実行委員会)
10月13日(土)	公開提案評価会	刈谷市市民ボランティア活動センター	12 名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
10月13日(土)	「ふれ愛名古屋」との交流イベント秋のおでかけツアー	岡崎市千万町	39 名	主催:NPO 法人ふれ愛名古屋
10月17日(水)	「地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業」連続セミナー第2回	ウィルあいち	37 名	主催:愛知県
10月26日(金)	「白書作成支援 2012」募集説明会	momo 事務所	5 団体	助成:地球環境基金

10月28日(日)	ぼらチャリ 2012	ナディアパーク	—	
11月3日(土)	「プロセスマネージャー養成塾」【第2回】集合研修	ウィルあいち	18名	助成:地球環境基金
11月4日(日)	融資先 yaotomi 完済イベント	名古屋都市センター	26名	助成:地球環境基金 共催:合同会社 yaotomi
11月7日(水)	「協働コーディネート業務(テーマ:寄付文化の醸成)」連続セミナー第1回	つながれっと NAGOYA	14名	主催:名古屋市
11月20日(火)	ボランティアスタッフ募集説明会	momo 事務所	6名	
11月21日(水)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」連続セミナー第3回	ウィルあいち	15名	主催:愛知県
12月8日(土)	国際協力カレッジ 2012	JICA 中部	—	主催:JICA 中部 共催:NPO 法人名古屋 NGO センター
12月18日(火)	「協働コーディネート業務(テーマ:寄付文化の醸成)」連続セミナー第2回	名古屋市市民活動推進センター	9名	主催:名古屋市
12月19日(水)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」連続セミナー第4回	ウィルあいち	23名	主催:愛知県
12月26日(水)	オフ会	刈谷市民ボランティア活動センター	19名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
【13年】				
1月12日(土)	新しい公共フォーラム・あいち「分科会」	愛知大学	40名	主催:愛知県
1月16日(火)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」連続セミナー第4回	ウィルあいち	12名	主催:愛知県
1月20日(日)	momo「大新年会」	momo 事務所	36名	
1月23日(水)	「協働コーディネート業務(テーマ:寄付文化の醸成)」連続セミナー第3回	名古屋市市民活動推進センター	14名	主催:名古屋市
2月2日(土)	プロセスマネージャー養成塾第3回集合研修	ウィルあいち	8名	助成:地球環境基金
2月7日(火)	「地域内“志金”循環促進事業」連続セミナー第5回	ウィルあいち	12名	主催:愛知県
2月11日(月・祝)	プロセスマネージャー養成塾第2期・最終報告会	ウィルあいち	13名	助成:地球環境基金
2月17日(日)	しんきん & ろうきんプロジェクトシンポジウム	東海労働金庫本店	49名	
2月23日(土)	「地域内“志金”循環(お金の地産地消)推進事業」フォーラム	中京大学	55名	主催:愛知県
3月3日(日)	「情報流通」促進事業フォーラム	刈谷市民ボランティア活動センター	35名	主催:NPO 等情報流通促進協議会
4月21日(土)	momo レンジャー募集説明会	momo 事務所	5名	
5月18日(土)	momo レンジャー募集説明会	com-cafe 三八屋	6名	
5月18日(土)	momo 融資先「志民連いちのみや」完済イベント	com-cafe 三八屋	23名	協力:NPO 法人志民連いちのみや

※各イベント等の報告は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.momobank.net/activity/>

4. 正会員に対する人力、情報提供等の支援及びコンサルティング業務

当団体は、NPO/NGO やコミュニティビジネスに対する資金的な支援（融資）の他に、

(1) 情報発信（当団体のネットワークを活用し、融資先に関する情報発信を行う）

(2) 場づくり（出資者と融資先との対話の場をつくる）

という 2 つの非資金的な支援に取り組むことができると考えています。

12 年度も、融資先のニーズによっては支援チームをつくり、事業者の日々の変化に、より柔軟かつ迅速に応えるよう努めました。各チームの活動内容は以下の通りです。

●「NPO 法人ふれ愛名古屋」チーム

■融資先のニーズ

普段外に出ることが少ない子どもたちのために、多くの人たちに触れ合う機会をつくってもらいたい。彼らのことをもっと多くの人たちに知ってもらえるよう手伝ってほしい。

■解決策

お出かけツアーを年に 1 度、「月イチ☆キャラバン」（momo レンジャーによる natsu 訪問）を月に 1 度、実施しました。その様子を、ブログ「ふれ愛メーター」で発信しています。

<http://blog.canpan.info/momo-fureai/>

また、ふれ愛名古屋の公式ホームページも開設しました。

■その中で大切にしてきたこと

デイケア施設 natsu へ定期的に訪問して子どもたちと遊んだり、鈴木代表やスタッフとこまめに連絡を取るようになりました。また、子どもたちが笑顔で楽しんでもらえることをいつも心がけながら、支援について話し合いました。

■融資先の声

ふれ愛名古屋は団体立ち上げ後から融資をいただきました。おかげで 3 年経った今、無事に返済することができ、経営も順調です。この 2 年半、お金以上に貸していただいたものがあります。それは「momo レンジャー」という“志金”です。私たちが大変な時期に彼らから多くの支援をいただいたことは決して忘れません。ありがとうございました。



●「まいかプロジェクト」チーム

■融資先のニーズ

岐阜県飛騨地方にはおいしい野菜がたくさんあるのに、スーパーには遠くから来た野菜がたくさん並んでいて、地元の農家は売れ残った野菜をどんどん捨てている。かつては当たり前だった地域の資源を地域の中できちんと回し、必要な所に新鮮な野菜を届けるしくみをつくりたいと考えている「まいかプロジェクト」。地域の想いと想いをつなぐ momo から融資を受けることで、新たな仲間に出会えることを期待されています。

■解決策

まずは momo 内でまいかプロジェクトが取り扱う“スチーム野菜”を食べる機

会をつくっています。また、東海ろうきんプロボノプロジェクトや momo 通信の取材を活用し、定期的にコミュニケーションを図っています。

■その中で大切にしてきたこと

心がけているのは、まいかプロジェクトにかかわるそれぞれの方の想いを大切にお聴きすること。野菜の生産者、販売者、コーディネーターそれぞれ違う立場からの声を受け止め、どのように momo としてかかわればよいか日々考え続けています。

■融資先の声

おかげさまで立ち上げから一年、飛騨発

♪ 農と食をテーマにスタート。自然と人のいのち、記憶を大切にする食生活の提案を農作業体験、講演会、講習会を通し形にしてきました。今後は momo 会員のみなさまに講習会へのご案内等ができるよう、広報にも力を入れていきたいと思っています。立ち上げに際しご融資いただいた感謝を形にしていく一年にしたいと思います。



●「合同会社 yaotomi」チーム

■融資先のニーズ

yaotomi が必要とする場づくり、情報発信、マンパワーが足りない時のお手伝い、yaotomi の相談を聴く、そして温かい応援。

■解決策

yaotomi が主催するイベントへの参加、イベントの企画・運営、momo のネットワークを用いた情報発信などを手伝いました。また、代表の犬飼さんからお話を聴く場を定期的に持ちました。その想いを少しでも理解した上で応援できるよう、わからないことには質問を繰り返しました。

■その中で大切にしてきたこと

犬飼さんからお話を聴くときには、熱心に耳を傾け、疑問に思ったことや自分たちの感じていることを素直にぶつけるように心がけました。経営的なアドバイスはできなくても、気兼ねなく話ができる友だちのような関係でいられたらと思っています。

■融資先の声

momo がいてくれたことで、考えさせてもらう場を与えてもらえ、レンジャーと一緒に考えてくれたことがよかったです。momo は確実に僕の立場に立って考えてくれ、そのおかげもあり、2 年間でいろいろなことを試すことができたことに、とても感謝しています。



●「NPO 法人志民連いちのみや」チーム

■融資先のニーズ

外からの力も必要と考え、地域性を大切にしつつも広域で事業を展開する momo からの支援と、今後の継続的な協働を期待しました。資金の使途は、設備に対する補助金入金時までのつなぎと、地ビール事業に直接必要な設備資金でした。

■解決策

志民連いちのみやが運営する「らぶたな」「杜の宮市」「PROJECT2021」などのイベントに参加しました。

具体的には、イベント「坊主 NIGHT」を開催。歴史の中で地域の中心的役割を

果たしてきたお寺の機能とコミュニティカフェを重ねて捉え、コミュニティのあり方について考えました。

■その中で大切にしてきたこと

融資先の目指したい方向性と乖離しない支援を心がけました。そのため、融資申込時の資料を読み返し、融資先の理念を確認しました。自分たちにできる事は momo の長所である「情報発信」「場づくり」を生かして貢献することだと判断し、インターネットや口コミを通じた広報に関する支援に力を入れました。

完済後も一宮のコミュニティの重要な

役割を果たす志民連いちのみやと三八屋を応援し時々遊びに行きたいと思います。

■融資先の声

この2年半ほど、momo の多様なメンバーと多様な接触をしてきました。地ビール工房「一宮ブルワリー」や、隣接するコミュニティ施設「com-cafe 三八屋」で、momo のメンバーと会い、ともに事業を運営したことは、楽しくも刺激的な時間であり、その中で次の事業展開や次世代への夢も膨らんでいきました。



●メディアチーム

■活動内容

事務局スタッフと連携し、「momo 通信」の企画・編集や Web サイトでの情報発信を担っています。12 年度は Facebook を中心に、ブログや twitter での情報発信を行いました。

また、昨年度に引き続き、融資先や他地

域でのソーシャルファイナンスの取り組みを紹介し、momo 通信に掲載しました。momo レンジャーのみならず、momo に関わる方にも寄稿していただく機会が増え、取り上げる情報の幅が広がりつつあります。

●エンパワーメントチーム

■活動内容

momo の活動を支えている約 30 名の momo のボランティアスタッフ（momo レンジャー）が生き生きと活動できるように、月に一回程度の打ち合わせをして、momo レンジャー同士の情報共有や交流が活発

になる仕掛けを考えています。12 年度は、出資者に呼びかけて新年会を開催するなど、レンジャーだけでなく出資者も含めたよりよいコミュニティづくりを目指して活動しました。

5. 地域経済や民間非営利活動に関する調査、研究

(1) 相互支援コミュニティ形成事業

東海地域の NPO が継続して活動していくために、他団体の多様な資源を共有し、活用することで、相互に支援し合う場づくりに取り組みました。5～10 年後のこの地域の NPO を担っていく世代が中心となって活動している NPO7 団体（NPO 法人アスクネット、NPO 法人起業支援ネット、コミュニティ・ユース・バンク momo、NPO 法人 G-net、NPO 法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク、NPO 法人多文化共生リソースセンター東海、NPO 法人中部リサイクル運動市民の会）が定例 MTG や仮想理事会、「理事会」をテーマとした集合研修を通して、各団体の相互理解を深め、連携を強化しました。

(2) NPO 等への信頼と支援を促す「情報流通」促進事業【補助：愛知県 新しい公共支援事業「新しい公共の場づくりのためのモデル事業（市町村等対象）」】

NPO 等が市民からの信頼性を高めるために、【1】市民ボランティア「フォトレポーター」の募集・育成、【2】NPO 等の活動を紹介するケータイ写真投稿サイト「愛知まちのたね通信」（<http://aichi.machitane.net/>）の開設・運営、【3】市民と NPO 等が交流する「場づくり」のトライアルを通して、地域で NPO 等の情報が発信され、流通する仕組みを構築しました。（本事業は刈谷市（市民協働課）と株式会社デンソー（社会貢献推進室）と当団体 3 者で NPO 等情報流通促進協議会を形成し、実施しました。）

(3) 環境保全活動を支えるソーシャルファイナンス促進事業【助成：平成 24 年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金】

ソーシャルファイナンス（社会的金融）を実現するためには、【1】資金の借り手である環境 NPO が自分たちの取り組みの「必要性」や「有効性」をわかりやすく伝えられるようになること、【2】環境 NPO の課題を適切に把握し、問題解決の糸口をともに考えられる「プロセスマネージャー」の存在が不可欠であること、【3】地域金融機関が環境 NPO に対する投融資の重要性を認識し、地域の関係者と連携・協力しながら積極的に支援していくことの 3 点が重要であることから、12 年度は、資金の借り手である環境 NPO が出し手である市民、貸し手である金融機関とつながり、お互いにかかわり続けていく基盤づくりに取り組みました。

(4) 地域内“志金”循環（お金の地産地消）推進事業【委託：愛知県 新しい公共支援事業「NPO 等活動基盤整備支援事業」】

NPO 等への寄付・融資を増進するために、寄付増進に関する「実証調査」の実施、継続的な資金調達基盤をつくる「研修会」や、NPO 等を育む生態系を創出する「委員会」「セミナー」の開催等、資金の出し手（市民）・受け手（NPO 等）・生かし手（助成・金融機関、中間支援組織等）に対する各事業を通して、NPO 等の財政基盤を整備する仕組みのひとつとして「一般財団法人あいちコミュニティ財団」の設立を支援しました。

(5) 協働コーディネート業務（テーマ：寄付文化の醸成）【委託：名古屋市】

【1】協働会議の実施

「市民の寄付などの資金が市民活動に回る仕組みづくり」を検討するために、資金の出し手（市民）、受け手（市民活動団体）、生かし手（助成・金融機関、中間支援組織等）が一堂に会し、寄付文化を醸成する（主に名古屋市内における）先行事例を学び合いました。

【2】協働事業の実施

「市民の寄付などの資金が市民活動に回る仕組みづくり」を検討するために、資金の出し手（市民）、受け手（市民活動団体）、生かし手（助成・金融機関、中間支援組織等）が一堂に会し、寄付文化を醸成する（他地域における）先行事例を学び合いました。また、市民活動団体自身の信頼性を高めるためには、市民活動団体の“商品”である情報の「開示」「発信」が不可欠のため、情報の「流通」によって寄付・応援を獲得している（愛知県内＋他地域における）先行事例を学びました。

(6) しんきん&ろうきんプロボノプロジェクト【補助：国土交通省・平成 24 年度「新しい公共」の担い手による地域づくり活動に対する非資金的支援のモデル事業】

地域活動の自立的な発展とそれによる地域活性化を実現するために、東海労働金庫、中日信用金庫、有限責任事業組合サステナブル経営研究会、一般社団法人 SR 連携プラットフォームの協力のもと、本事業のプロセスと成果を“見える化”する「情報発信」や、「新しい公共」の担い手に足りない経営資源を持ち寄る「場づくり」の実施、協力先・地方自治体との「委員会」の開催等の各事業を通して、「新しい公共」の考え方に基づくコミュニティ活動に地域資源（資金、知恵等）が持ち寄られる仕組みを構築しました。

(7) 実行委員会や会議等への派遣

12 年度は以下の実行委員会や会議等に、代表理事の木村、副代表理事の長谷川、理事の荻江・田口・藤岡、事務局スタッフの斉藤・鈴木を委員として派遣しました。

【木村】

- ・愛知県「NPO と行政の協働に関する実務者会議」第 5 期 構成員
- ・環境省中部地方環境事務所 サステナブルビジネス支援ネットワーク検討委員会 委員
- ・休眠口座国民会議 呼びかけ人
- ・公益財団法人京都地域創造基金 経済産業省補助金 地域新事業移転促進事業アドバイザー

- ・全国 NPO バンク連絡会 理事
- ・東海若手起業塾実行委員会 理事
- ・名古屋市市民活動推進センター 協働コーディネーター&NPO アドバイザー（テーマ：寄付文化の醸成）
- ・名古屋市社会福祉協議会・名古屋市主催「地域福祉リーディングモデル事業」選考委員会 委員
- ・Panasonic NPO サポートファンド（環境分野） 助成選考委員
- ・ぼらチャリ 2012 実行委員会「ぼらチャリ 2012」企画運営委員会 委員

【長谷川】

- ・一宮市市民活動支援センター アドバイザー
- ・日本財団助成事業 名古屋市市民活動団体向け『活動プログラム』対象団体募集 選考委員

【荻江】

- ・公益財団法人みらいファンド沖縄 選考委員会 委員

【田口】【藤岡】【斉藤】

- ・一宮市市民活動支援センター アドバイザー

【鈴木】

- ・一宮市市民活動支援センター アドバイザー
- ・環境省中部地方環境事務所サステナブルビジネス伴走支援プロジェクトプロセスマネージャー

（８）ヒアリング調査等への対応

12 年度、以下の団体等からのヒアリング調査等に対応しました。

- ・一般社団法人中部産業連盟 国際研修部（JICA 青年研修事業）
- ・内閣官房 国家戦略室
- ・名古屋商工会議所 中小企業・会員支援部
- ・公益財団法人日本財団
- ・NPO 法人ネイチャリング・プロジェクト（鹿児島県 新しい公共支援事業）
- ・三重県 雇用経済部 サービス産業振興課
- ・三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（国土交通省・「新しい公共」の担い手に対する非資金的支援の拡大に関する調査）

6. その他の事業

（１）各地の NPO バンクとの連携

12 年度も全国各地の NPO バンクと連携し、NPO バンクの認知度と社会的信頼の向上に努めました。12 年 7 月 7 日（土）～8 日（日）に福岡で開催された「第 4 回全国 NPO バンクフォーラム」の実行委員会に参画しました。

また、12 年 8 月下旬から 13 年 3 月末まで、NPO バンクの設立を目指す NPO 法人津市 NPO サポートセンターからスタッフを研修目的（インターン）で 2 名受け入れました。

（２）企業・行政・NPO との委託・協働事業の実施

●東海若手起業塾

12 年度も引き続き「東海若手起業塾」(※)の実行委員会に参画し、東海地域で起業家支援・若者支援の活動を行っている NPO4 団体（NPO 法人アスクネット／愛知県名古屋市、一般社団法人アスバン教育基金／愛知県名古屋市、NPO 法人起業支援ネット／愛知県名古屋市、G-net／岐阜県岐阜市）と、起業家支援の全国的組織である NPO 法人 ETIC.と協働で運営しました。

※地域の課題解決や地域資源の有効活用を通じて、東海地域を活性化したいと考えている若手起業家を対象に、ビジネスモデルや事業戦略の質を高め、事業を成長軌道に乗せていくための支援プログラム（主催：東海若手起業塾実行委員会、協賛：ブラザー工業株式会社）

●パナソニック株式会社

「Panasonic NPO サポートファンド」の公募説明会を共催し、東海地方の団体向けに「キャパシティビルディングワークショップ」を12年7月3日（火）に実施しました。

●認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク

認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク（以下、@PRO）と共催で、@PRO 通常総会記念シンポジウム in 名古屋「社会事業家の成長を育む仕組みや仕掛けとは？～会計の役割から考える～」を12年9月8日（土）に開催しました。

（3）総会・理事会の開催

12年7月29日（日）に定時総会を開催しました。また、理事会を下記の通り毎月開催しました。

【理事会の開催日時・主な議題】

日時	主な議題
【12年】	
6月24日（日）10:00～16:00	第7回定時総会、今後のビジョン
7月16日（月・祝）13:00～17:00	つなぎ融資（株式会社関むぎパッションフルーツ組合）、第7回定時総会
8月2日（木）19:00～21:00	第12回融資（書類審査）
8月18日（土）10:00～17:00	つなぎ融資（一般社団法人高齢者等支援フォーラム）、第12回融資（面談に向けた支援内容）
9月4日（火）19:00～21:00	つなぎ融資（中部 ESD 拠点推進会議）
9月17日（月・祝）8:30～19:00	第12回融資（一次審査）
9月26日（水）19:00～21:00	マンスリー会員制度
10月20日（土）13:00～17:00	第12回融資（最終審査）
11月18日（日）9:30～13:00	第13回融資、今後の組織体制
12月23日（日）9:30～13:00	つなぎ融資（中部 ESD 拠点協議会）、今後の組織体制
【13年】	
1月20日（日）9:30～13:00	今後の組織体制
2月3日（日）13:00～17:00	第13回融資（書類審査）
3月12日（火）19:00～22:00	第13回融資（面談に向けた支援内容）
3月17日（日）9:30～21:00	第13回融資（一次審査）
4月21日（日）13:00～17:00	第13回融資（最終審査）
5月18日（土）9:30～13:00	今後の組織体制

2012 年度決算

貸借対照表

コミュニティ・ユース・バンク momo

2013 年 5 月 31 日現在

(単位：円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	115,900			
普通預金	16,622,173			
別段預金	28,884,000			
前渡金	0			
仮払金	0			
前払費用	92,350			
未収入金	110,288			
流動資産合計		45,824,711		
2 固定資産				
長期貸付金	12,448,865			
固定資産合計		12,448,865		
資産合計				58,273,576
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	725,672			
未払費用	7,582			
未払法人税等	0			
前受金	1,000,000			
預り金	473,915			
仮受金	0			
流動負債合計		2,207,169		
2 固定負債	0			
固定負債合計		0		
負債合計				2,207,169
III 純資産の部				
1 出資金		52,622,900		
2 損失準備金		1,213,345		
3 正味財産		2,230,162		
純資産合計				56,066,407
負債及び純資産合計				58,273,576

収支計算書

コミュニティ・ユース・バンク momo

自 2012 年 6 月 1 日至 2013 年 5 月 31 日

(単位：円)

科目／項目	当初予算 (A)	決算(B)	差額(B)－(A)	摘要
I. 収入の部				
1 会費・寄付				
1) 会費収入	300,000	216,000	△ 84,000	
2) 寄付金収入	600,000	363,302	△ 236,698	事務手数料等
2 事業収入				
1) 審査手数料収入	100,000	60,000	△ 40,000	
2) 貸付金利息	250,000	432,081	182,081	
3) 講座等参加費	750,000	253,000	△ 497,000	
4) 物品販売	50,000	7,800	△ 42,200	
5) その他	250,000	1,009,016	759,016	新しい公共フォーラム70,618円、一宮市市民活動支援センター110,000円、NPO会計事務専門家ネットワーク152,366円、サスプログラム150,000円、津市NPOサポートセンター288,000円、東海若手起業塾100,000円、パナソニック地球環境基金3,471,000円、愛知県4,140,000円、国土交通省3,800,000円、デンソーはあとふる基金180,000円、エーザイ320,000円
3 補助・助成金収入	8,040,000	11,911,000	3,871,000	愛知県7,000,000円、名古屋市1,276,000円
4 受託収入	8,300,000	8,276,000	△ 24,000	講演・ヒアリング料、預金利息等
5 雑収入	100,000	240,813	140,813	
当期収入合計(A)	18,740,000	22,769,012	4,029,012	
II. 支出の部				
1 事業費				
1) 出資金募集	80,000	6,500	△ 73,500	momoたね基金特典仕入れ代
2) 融資事業	412,000	120,605	△ 291,395	日本貸金業協会50,000円、第4回全国NPOバンクフォーラム30,000円、貸金業取扱主任者講習15,500円、全国NPOバンク連絡会12,000円、貸金業登録等6,615円、訪問調査6,490円
3) 補助・助成・受託事業等運営	11,688,000	13,779,292	2,091,292	
旅費交通費		1,523,110		
通信費		540,524		
外注費		821,000		
賃借料		250,055		
謝礼金等		7,987,485		講師・アルバイト代等
印刷製本費		179,172		
広告宣伝費		2,139,158		
消耗品費		235,064		
雑費		103,724		接待交際費54,459円、新聞図書費29,265円、愛フェス10,000円、ぼらチャリ10,000円
2 管理費				
1) 事務所家賃	610,000	735,480	125,480	
2) 人件費	4,600,000	6,072,887	1,472,887	給与5,872,887円(正職員3名＋アルバイト1名)、賞与200,000円(正職員1名)
3) 通信費	250,000	196,909	△ 53,091	電話代71,909円、サーバー代5,000円、郵送費等
4) 印刷製本費	250,000	182,397	△ 67,603	総会議案書、momo通信等
5) 旅費交通費	350,000	248,950	△ 101,050	スタッフ定期代、理事・顧問新幹線代等
6) 雑費	250,000	1,143,584	893,584	法定福利費807,336円、租税公課177,889円、支払手数料112,721円、その他45,638円
3 予備費	0	0	0	
当期支出合計(B)	18,490,000	22,486,604	3,996,604	
当期収支差額(A－B)	250,000	282,408	32,408	

※12年度中に運営資金が不足しましたが、理事による劣後出資金を充当しました。

純資産変動計算書

自 2012 年 6 月 1 日至 2013 年 5 月 31 日

(単位：円)

摘要	出資金	損失準備金	正味財産	純資産合計
前期末残高	48,350,000	781,264	2,379,835	51,511,099
当期変動額				
当期収支差額			282,408	282,408
出資金増加額	5,342,000			5,342,000
出資金返還額	△1,060,000			△1,060,000
出資金寄付額	△9,100			△9,100
損失準備金積立額		432,081	△432,081	0
当期変動額合計	4,272,900	432,081	△149,673	4,555,308
当期末残高	52,622,900	1,213,345	2,230,162	56,066,407

2012 年 6 月 1 日より 2013 年 5 月 31 日に至る期間の事業報告、貸借対照表、収支計算書、純資産変動計算書を以上の通り報告します。

2013 年 6 月 26 日

コミュニティ・ユース・バンク momo

代 表 理 事 木村 真樹

副代表理事 上原 悦子

副代表理事 長谷川友紀

理 事 石川 孔明

理 事 岩附あずさ

理 事 加藤 篤博

理 事 坂本 竜児

理 事 田口 裕晃

理 事 藤岡 博孝

監査報告書

監査の結果、2012 年 6 月 1 日から 2013 年 5 月 31 日までの第 8 期事業年度の貸借対照表、収支計算書及び純資産変動計算書は、同時点のコミュニティ・ユース・バンク momo の財産及び収支の状況を適正に表示しているものと認めます。

2013 年 7 月 5 日

監 事 伊勢戸由紀

監 事 伊藤 真弘

監 事 荻江 大輔